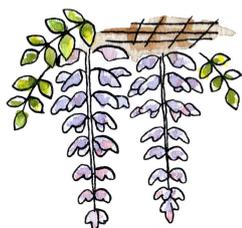


学校だより



おおふじ



10月号

令和元年10月7日

身近な草花に目をむけてみよう

10月に入って、少しずつ朝晩の涼しさが感じられるようになりました。日が暮れるのも早くなり、秋本番が近づいているのが分かります。先月の運動会、先週の授業参観では、お忙しい中ご参観いただき、本当にありがとうございました。特に運動会では、ぐずぐずした天候の影響で24日（火）延期での開催とさせていただきました。いろいろな面でご心配ご迷惑をおかけしました。皆様のご理解とご協力を、とても感謝いたします。



今日の朝礼では、子どもたちに「身近なところで咲く草花たち」について話しました。校庭や中庭、大藤小の駐車場や畑で咲いている草花です。2つ紹介したいと思います。



【イヌホオズキ】

大藤小の畑で見つけた草花です。ナス科の草で、別名を「バカナス」というのだそうです。とてもかわいい5枚の白い花びらをつけています。

10月の今頃は、小さなかわいい実をたくさんつけています。



【タカサブロウ】

キク科の仲間で、漢字で書くと『高三郎』。別名をボクトソウ（墨斗草）といいます。なんでも、この草の茎から黒い汁が出ることから、昔、この茎を使って習字を書いた人の名前が『タカサブロウ』だったことからこんな名前がついたという説があるそうです。中庭で見つけた、とても小さな白い花でした。



花屋で売っているような立派な花とは違い、このような草花をつい私たちは、「雑草」という言葉でまとめてしまいます。でも本当は、一つ一つの草花にはきちんと意味をもった名前がつけられているのですね。

そして、どの草花も精一杯、立派な花を咲かせようとしています。少し視点を変えてみると、私たちの身近に、かわいいきれいな草花をたくさん見つけることができます。

草花だけに限りません。大藤小に通っている友達も、クラスメートも、少し見方を変えて、今まで気がつかなかった素晴らしいところ、いいところをどんどん見つけることってステキだよ！と子どもたちに伝えました。